

(二六一九)

三 元和五年三月 白井藩主本多紀貞より上白井村新左衛門尉

あて下知書〔A〕

上かみしろい白井山川い之儀、預あずけおき置候うえは上者、無とどけなくレ届木ヲ切、網つかい遣候者これあら在あらレ之  
者、急きつとごんじょう度言上つかまつるべく可レ仕候、為そのためいっレ其一びつかくのごとく筆如いじようレ此候、已上

元和五年未

三月 日 規 貞(黒印)

新左衛門尉方へ